



しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

ふゆ休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2021年版]

	しよめい さくしゃめい しゅっぱんしゃ	ないよう		しよめい さくしゃめい しゅっぱんしゃ	ないよう
えほん	<p>「おじいちゃんのたびじたく」</p>  <p>ソヨン 文・絵 斎藤 真理子 訳 小峰書店</p>	<p>おじいちゃんのもとに、ほわほわ白いおきゃくさまがやってきて、たびのおともをしてくれましたと言いました。 おじいちゃんは、お金をもったり、おふろに入ったり、きれいなふくをきたり、大よろこびでたくをします。そして、とうとうしゅっぱつの日がやってきました！</p>	としよ	<p>「おとうとのたからもの」</p>  <p>小手鞠 るい 作 すずき みほ 絵 岩崎書店</p>	<p>小学2年生のあおいは本がにがてだけど、おとうとの冬馬(とうま)は絵本が大すきみたいです。どんなときも絵本をよんでいる冬馬を外であそばせようとして、わざと取りあげてみると…。その絵本には、じつはとても大切なひみつがあったのです。</p>
えほん	<p>「青いヌプキナの沼」</p>  <p>かこさとし 著 復刊ドットコム</p>	<p>むかし、北海道に来たサムライたちは、ずっと前からそのばしょにすんでいたアイヌの人たちをおいはらい、土地をうばいました。 ヌプキナ(すずらん)がさく、みずうみのほとりにくらしていたアイヌの兄と妹の、かなしいものがたりです。</p>	としよ	<p>「きっちり・しとーるさん」</p>  <p>おの りえん 作・絵 こぐま社</p>	<p>しとーるさんは、とってもキッチリしています。図書館のしごともテキパキこなすし、時間もキッチリまもりすぎていて、まわりの人たちは少しこわがっていました。 そんなあるゆきのよる、しとーるさんは、とてもよごれた小さな子ネコに出あいました。</p>
えほん	<p>「なんでもモッテルさん」</p>  <p>竹下 文子 文 アヤ井 アキコ 絵 あかね書房</p>	<p>モッテルさんのかぞくはお金もちです。なんでももっているの、おやしきの中はものでいっぱいです。 ところがある日、ものすごいあらしがきて…。モッテルさんかぞくが、お金では買えない「大切なもの」を知っていく、あたたかなおはなしです。</p>	としよ	<p>「幸福の王子」</p>  <p>オスカー・ワイルド 原作 小野 忠男 文 井上 ゆかり 絵 につけん教育出版社</p>	<p>ある町のひろばに、からだは金で、目は青いサファイア、けんには赤いルビーがかがやく「幸福の王子」とよばれる像(ぞう)がありました。 あるふゆのよる、この王子の足もとにとまったつばめは王子のかなしみをしり、そのねがいをきいて…。</p>
えほん	<p>「かぜのでんわ」</p>  <p>いもとようこ 作絵 金の星社</p>	<p>山の上にあるでんわは、せんがつながっていません。今日も一人、山にのぼってもう会えなくなった人とおはなしをするために、でんわをかけにきました。 岩手けんおおつち町にある「風のでんわ」を元にしたおはなしです。</p>	としよ	<p>「たくさんのお月さま」</p>  <p>ジェームズ・サーバー 文 ルイス・スロポドキン 絵 なかがわちひろ 訳 徳間書店</p>	<p>ある国に、もうじき11さいになる小さなレノアひめがすんでいました。 「お月さまがほしい」というレノアひめのねがいを、王さまやけらいたちはがんばってかなえようとしますが…。</p>
えほん	<p>「こりすのかくれんぼ」</p>  <p>西村 豊 著 あかね書房</p>	<p>森の木のあなでくらしている、いつもげんきなよつごのこりすたち。「おるすばんしてね」っておかあさんに言われてもがまんできません。 かくれんぼしながらおかあさんをおいかける、たのしいこりすのおはなしをしゃしんでみせてくれます。</p>	としよ	<p>「たべかたのえほん」</p>  <p>石田 葉音 文 よしのぶ もとこ 絵 PHP研究所</p>	<p>「白いごはんやパンは、どうやってたべるのかな？」 「おはしの正しいつかいかたって？」おいしくたべるには、正しいたべかたもだいじです。 おやこでしておきたいテーブルマナーをイラストとともにたのしくまべます。</p>